

# THE DAY



## NEWS LETTER

2025 / 7 / 1 Noboru Morishige

YouTube 森繁昇チャンネル



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、これを読んでくださる皆さん

2025年7月1日

今年も、また、新たな激暑を記録する夏になるような感じがしますが、皆さん、元気におられるでしょうか？皆さんが元気におられることを、心から願っています。

6月半ばから夏日に突入！異常という言葉でこの激アツを耐え抜こうとするのですが、大変！しかし、これはまだ耐えやすいことかも知れません。

### イエスの助け

先月のレターで、私がこれまでよくわからなかったイエスのことばから、イエスに示されたことを書きました。それは、「この世で、誰ひとり、私たちを助けてくれる人がいなくても、人となってこの世に来られた神の子イエス・キリストは、私たちを助けてくださる」です。いつでも、どんな時にでもです。

### 神のことばの真実と現実

6月のレターを書き終えた後で、イエスから、もう一つメッセージが私に示されました。そのことは聖書の中でイエスが言われた全てのことばの真実と現実を、私に再び確信させるものでした。

私はこれまで、神の良い知らせ（ゴスペル）を伝えて来ましたが、イエスのゴスペル（良い知らせ）は、神のことばの真実と、神のことばの現実に基づくもので、そして、それは、天と地の全てのものを造られた神であるイエスのことばは、「必ずその通りになる」ということです。そして、そ

れを通して、イエスが誰であるか、イエスがどのような方であるかが人に分かるのです。その一番最初が、「はじめに、神が天と地を創造した。」です。聖書の全てのことは、このことばの真実と現実の上に立っています。

### 全て、イエスの言ったことば通りになる。

先月はヨハネの福音書の5章からで、38年間病氣だった人を癒したイエスの奇跡です。四つの福音書の中に、イエスは自分が神であることを公に示すための一つとして、多くの奇跡を行ったことが書いてあります。そのことを、まず、マタイの8章からいくつか書き出してみます。その後で、先月の聖書の箇所ヨハネの5章に戻りますね。マタイの福音書8章を読んでください。

ひとりのらい病人がみもとに来て、ひれ伏して言った。「主よ。お心一つで、私をきよめることがおできになります。」イエスは手を伸ばして、彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ。」と言われた。すると、すぐに彼のらい病はきよめられた。 (マタイ8:2~3)

イエスがカペナウムにはいられると、ひとりの百人隊長がみもとに来て、懇願して、言った。「主よ。私のしもべが中風やみで、家に寝ていて、ひどく苦しんでおります。」イエスは彼に言われた。「行って、直してあげよう。」

しかし、百人隊長は答えて言った。「主よ。

あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。ただ、おことばをいただきせてください。そうすれば、私のしもべは直りますから。」

……それから、イエスは百人隊長に言われた。「さあ行きなさい。あなたの信じたとおりになるように。」すると、ちょうどその時、そのしもべはいやされた。(マタイ8:5~13)

夕方になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れて来た。そこで、イエスはみことばをもって霊どもを追い出し、また病気の人々をみなお直しになった。(マタイ8:16)

イエスが舟にお乗りになると、弟子たちも従った。すると、見よ、湖に大暴風が起こって、舟は大波をかぶった。ところが、イエスは眠っておられた。

弟子たちはイエスのみもとに来て、イエスを起こして言った。「主よ。助けてください。私たちはおぼれそうです。」

イエスは言われた。「なぜこわがるのか、信仰の薄い者たちだ。」

それから、起き上がって、風と湖をしっかりとつけられると、大なぎになった。人々は驚いてこう言った。「風や湖までが言うことをきくとは、いったいこの方はどういう方なのだろう。」

(マタイ8:23~27)

それから、向こう岸のガダラ人の地にお着きになると、悪霊につかれた人がふたり墓から出て来て、イエスに出会った。彼らはひどく狂暴で、だれもその道を通れないほどであった。

すると、見よ、彼らはわめいて言った。「神の子よ。いったい私たちに何をしようというのです。まだその時ではないのに、もう私たちに苦しめに來られたのですか。」

ところで、そこからずっと離れた所に、たくさん豚の群れが飼ってあった。それで、悪霊どもはイエスに願ってこう言った。「もし私た

ちを追い出そうとされるのであれば、どうか豚の群れの中にやってください。」

イエスは彼らに「行け。」と言われた。すると、彼らは出て行って豚にはいった。すると、見よ、その群れ全体がどつとがけから湖へ駆け降りて行って、水におぼれて死んだ。

(マタイ8:28~32)

ここにイエスが行った五つの奇跡のことが書かれています。3回の癒しの奇跡では、3人ともイエスが病気を癒すことができる神であると知って、その人たちの方からイエスのところに来て癒しをお願いしました。そして、イエスは自分の「ことば」によって癒しの奇跡をしました。

湖に起こった大暴風を大なぎにしたのも、イエスは、自分の「ことば」で風と湖とをしっかりとつけたのです。

悪霊につかれた狂暴な二人から悪霊を追い出した時も、イエスは「行け。」と、「ことば」で悪霊を追い出しました。

この箇所からだけでも、イエスは、病気を直す力、自然界を制御する力、悪霊を制する力、それらの力を持っておられる神ということがわかります。そして、その力を、「ことば」を使って表したのです。

そして、先月書いた38年もの長い間病気だった男の人の癒しの奇跡です。

ヨハネ5章1~13節をもう一度読んでみてください。私には、新しく示されたイエスの現実です。ここでのイエスの癒しの奇跡の状況はマタイの8章の癒しの奇跡の時と違ったことがあります。

一つは、この男の人は、自分からイエスに癒しを求めて来たのではないのです。そして、この男の人は、イエスの方から「よくなりたいか？」と癒しを提供されたのです。神から言われたのですよ!! エーッ!でしょ!!

にもかかわらず、この男の人は、「よくなりたい」と答えていないのです。それどころか、誰も私を助けてくれない、水が動かされた時に、他の人が

先に……と、文句を言っているのです。この男の人は、イエスが誰か知らないのです。

その状況で、イエスの「ことば」です。

「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」

(ヨハネ5:8)

すると、その人はすぐに直って、床を取り上げて歩き出した。

(ヨハネ5:9)

しかし、いやされたその人は、癒やしてくれた人がだれか知らなかった。

(ヨハネ5:13)

15節で、この男の人は、ユダヤ人にイエスのことを告げ口しています。この流れから、この男の人は、38年間もの長い間病に伏していたのに、よくなりたいたとイエスに答えてもいないし、それに、直してくれた人が誰も知らなかったのです。しかし、しかし、それでも良くなったのです。エッ—— !!!

このところから新しくイエスに教えていただいたもう一つのことは、

人が、仮に、イエスが誰なのか、また、どのような方なのか知らなくても、また、イエスを信じていなくても、それらのこととは全く関係なしに、「イエスの言った『ことば』は、必ずその通りになる。」ということです。

### 全て、イエスが言った言葉通りになる！

今日のイエスのことばは、マタイの24章からです。

詳しくは書きませんが、イエスの言葉通り、今、この世は、すでに、動乱の世界！ 動乱の日本！ 動乱の時！ だと私は、はっきりと感じています。しかし、それは、まだ、始まりです。

ですから、人が信じても信じなくても、その通りになるイエスのことばを、今回、真剣に受け取り、前もって話して下さったことばを心に蓄えていましょう。

### 神の忠実

私は、イエスの恵みによって救われた初め頃、

この箇所、天地が減びるとか、終わりが来るとか読むと、あまりいい気はしませんでした。むしろ嫌で、あまり考えないようにしていました。しかし、それは変わっていったのです。今回も書いていますが、減びに向かっていた罪人である私のために、それに土地のちりにすぎない私のために、神の子が人となってこの世に来られ、あの十字架の上で苦しみ、命を捨ててくださったのです。

そのイエスの愛と恵みを思い出させてもらうたびに、何があっても、この方は私を愛しておられる、何が起ころうとも、この方は私によくしてくださらないはずがないという確信を神によって強められてきました。「イエス様、ありがとう。」

そして、イエス・キリストは死人の中からよみがえられた救い主です！ イエスは、自分のことばと、私たちに対して忠実な方です！ 「イエス様、ありがとう」

マタイ24章 抜粋して書き出してみます。イエスの「ことば」です。

イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。「お話してください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。」

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名のる者が大ぜい現われ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。」

また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようになさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たものではありません。民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。

そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに会わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

また、そのときは、人々がだぜいつまずき、互いに裏切り、憎み合います。また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。(マタイ 24:3~14)

そのとき、『そら、キリストがここにいる』とか、『そこにいる』とか言う者があっても、信じてはいけません。にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。

さあ、わたしは、あなたがたに前もって話しました。だから、たとえ、『そら、荒野にいらっしゃる』と言っても、飛び出して行ってはいけません。『そら、へやにいらっしゃる』と聞いても、信じてはいけません。人の子の来るのは、いなくが東から出て、西にひらめくように、ちょうどそのように来るのです。

(マタイ 24:23~27)

だが、これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。そのとき、人の子のしるしが天に現われます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見ます。

人の子は大きなラッパの響きとともに、御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで、四方からその選びの民を集めます。(マタイ 24:29~31)

この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。

(マタイ 24:35~36)

### イエスの忠実

聖書に書いてある神のことばは、それを読む人が、また、聞く人が、天と地のすべての造り主なる神を知るためです。聖書に書かれてあるゴスペルは、罪人を愛する神の愛、罪人を赦す神の恵みとあわれみ、この世での命が終わった後で、天国で与えられる永遠の命です。

聖書に書かれてある神の真実と現実は、神の霊(聖霊)によって、神であるイエス・キリストを求め人の心に直接示されるのです。「イエス様、あなたのことを、私に、教えてください。」

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。(ヨハネ 3:16)

イエスのことばです。ですから、大丈夫です。



- 7月30日 5:00pm から西成の救霊会館でイエス様を歌って話す計画です。どうぞ、お越しください。
- イエス様の御心なら、夏は7月下旬から9月下旬、秋は11月上旬から12月20日ごろまで、来日する予定です。コンサートや伝道集会に森繁昇を招きたいと思われる方は、メールでご連絡ください。

### ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24  
FAX ▶ 0833-91-6492  
E-mail ▶ thewindisblowing@hotmail.com  
振替口座 ▶ 01330-4-93687 ザ・デイ

### HP / thedaywill.com

**Noboru Morishige**  
P.O.BOX 1666  
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A  
TEL ▶ 808-966-9252

